

南中校区小中一貫だより



南大分中・豊府小・南大分小

令和6年度 第1号

令和6年 8月6日

南大分中学校全校生徒 849名
豊府小学校全校児童 1001名
南大分小学校全校児童 782名

大分市では、全市で「学校、地域の実情に応じた小中一貫教育」が行われています。南大分中学校校区では、児童生徒が9年間充実した学校生活を過ごせるように、小中で互いに授業を見合う「小中合同授業研究会」や長期休業中に「合同研修会」を持つなどさまざまな取り組みをしています。

小中一貫教育の推進について

南大分中学校 校長 河野 正行

南大分中学校区では、「自ら学び、自ら考え、自分の目標に向かって努力する児童生徒」「きまりを守り、善悪を正しく判断し、責任を持って行動する児童生徒」「自他の生命や人権を尊重し、相手を思いやることのできる児童生徒」「豊かな心を持ち、主体的に活動することのできる児童生徒」の4つを目指す子ども像として、小中3校で連携し、9年間を見通した取組を行っています。育ちの段階ごとに必要な力を明らかにしながら、6つの部会に分かれて、それぞれの学校の課題を共有し、解決するために必要な取組を考え実践しています。

本年度も、小中学校の教職員間の連携・協働を深めるために、小中合同授業研究会で授業改善の取組を進めるとともに、合同行事や交流行事により児童生徒が共に活動する機会の充実に努めています。南大分中学校区の共通目標は、「あいさつの励行」「家庭学習の充実」で、本年度は、目標達成のために「児童生徒の交流活動」を推進し、一貫教育の質の向上に努めているところです。

小中一貫教育の取り組みの中で交流活動を推進し、小学生低学年の子どもたちが高学年の児童にあこがれを抱いたり、小学生が中学生や中学校生活にあこがれを抱いたり、将来への展望を持つことで、意欲的に学習や学校生活に取り組むようになるのではないかと考えています。

今後も小中3校で協議をしながら、児童生徒のより良い成長のために南大分中学校区の小中一貫教育の充実を図っていききたいと考えています。

1学期からの取り組み

南大分中学校区では、4月22日（月）に3校連絡会を開催し今年度の方向性を、5月24日（金）には、第1回の部会代表者会を開催し具体的な取り組み内容を確認しました。6月11日（火）には、第1回の小中連絡会を開催し、小学校の先生方が中学校の授業の様子を参観、成長した子どもたちの姿から今後の一貫教育の在り方について考える機会となりました。「中学校への進学に不安を感じていた子どもも中学校生活を友だちと楽しめているようで安心しました」と、小学校の先生から感想をいただきました。

8月1日（木）には、夏季合同研修会を開催し、6つの部会に分かれて具体的な取り組み内容について協議しました。会の初めには、人間関係づくりプログラムを実施し交流を深めました。

8月6日（火）には、小中3校の児童会と生徒会のメンバーが南大分小学校に集まり「児童会・生徒会交流会」を開催いたしました。今回のテーマは「そうじ」で、はじめに南大分中学校での掃除の様子を生徒会のメンバーが映像をもとに紹介しました。



その後、各学校の課題や課題を解決するために取り組んでいることを交流しました。生徒会のメンバーが進行役となり、柔軟な発想のもと様々な意見を交流することができました。「小学校が中学校の掃除の時間に参加したり、逆に中学校が小学校に訪問したりすることをしてみたい」という発表がありました。

